

## 城南宮、鳥羽の戦い跡見学

本日は、年内最後の授業でした。授業終了後に年内最後の課外活動として城南宮に出かけました。

11月に「鳥羽伏見の戦い」の「伏見」の見学を行ったので、今回は「鳥羽」の見学です。

授業終了後直ちに JR 茨木駅に移動し、長岡京駅で下車しました (310 円)。

長岡京駅の西側の「モスバーガー」でランチ。モスバーガー初めてのメンバーもいました。

食事後、「長岡京東口」から「竹田駅西口」行きの京都市バスに乗って、「城南宮東口」で下車。

乗車時間は 30 分くらい。290 円。京都市バスは「前から下車」してください。

城南宮についたら、まず立て看板を読んで学んだ歴史を再確認します。



慶応4年（1868年）正月3日「城南宮」の一带に布陣した五百数十名の薩摩兵は、小銃に弾を込め、西参道に四門の四斤山砲を捉えて都を目指して北上する旧幕府軍を待ち受けました。

続いて、城南宮の神苑を見学しました。拝観券は 800 円。紅葉はまだ残っていました。





城南宮の神苑「楽水苑」の多数の植物の中には、「源氏物語」に描かれた花や木々が80種余りあり、「源氏物語花の庭」と親しまれています。写真もアングル重視で撮りました。



城南宮の紅葉を楽しんだあと、京阪国道を西側に渡って「鳥羽伏見戦跡石碑」を見に行きました。



鴨川にかかる小枝橋の近くに石碑がありました。現在の小枝橋は立派な2車線の橋ですが、戊辰戦争当時はこの石碑の近くにかかっていたそうです。

最後に鳥羽離宮跡公園行きました。小枝橋から南に歩いて3分です。



鳥羽離宮跡公園の中にも、鳥羽の戦いについて説明する石碑がありました。石碑の奥に「秋の山」と呼ばれる小丘が見えますが、薩摩藩はここに四斤山砲を隠していたそうです。石碑には「アームストロング砲」と刻まれていましたが、そこは黒いテープで隠されていました。アームストロング砲であった確証が無いようです。上野戦争や会津戦争では使用された確証があります。

更に南に歩いて、京都市バス「赤池西」から「長岡京東口」へ向かいました。全員、「前から下車」して、JR長岡京駅で「よいお年を」と挨拶して解散しました。